

多様化する就労困難者への 支援力向上事業

一般社団法人 サステナブル・サポート

〒500-8175 岐阜県岐阜市長住町 2 丁目 7 番 アーバンフロントビル 3 階

助成事業の概要

多様化する就労困難者への支援力を高めることを目的として、全国の先進的な取り組みを学び、支援の在り方を検討しました。

■2024 年 5 月：障害者虐待防止・権利擁護（太田隆康氏）

■2024 年 7 月：傾聴力アップ勉強会（株式会社 BLS：中川久枝氏）

■2024 年 8 月：IPS 伴走型就労支援について学ぶ（桜ヶ丘記念病院：中原さとみ氏）

■2024 年 10 月：刑余者の立ち直り支援の必要性（朝日大学：大野正博氏）

■2024 年 11 月：事例検討会（いかわクリニック：井川典克氏）

■2025 年 2 月：スタッフも利用者も好きなことをしながら工賃 1000 円以上！（一般社団法人日本福祉協議機構：濱野剣氏）

■2025 年 2 月：事例検討会（いかわクリニック：井川典克氏）

■2025 年 3 月：つながりが未来をつくる（株式会社風とつばさ：水谷衣里氏 / 社会福祉法人いぶき福祉会：北川雄史氏 / NPO 法人ひだまり創：古澤由加里氏 / 一般社団法人ヒトノネ：篠田花子氏）

事業の成果

支援を必要とする一人ひとりの多様なニーズに対応するため、地域の支援者・支援機関向けの公開研修会を 4 回実施しました。日常的な生活・業

務の場面では学ぶ機会のない社会課題や先進事例を知ることができ、地域全体の支援力向上と連携体制の構築ができました。具体的には下記の通りです。

8 月は、支援よりも働く機会を求める当事者への支援の在り方として、個別就労支援プログラム（IPS）の実例について学びました。10 月は、受刑者の中には障害者や障害特性がある人も多く、刑余者への就労支援がどのように行われているのかを知り、連携の可能性について考えました。2 月は、最新の福祉事業所の活動について知り、支援者と支援を必要とする人が共に好きなことを仕事にする取り組みについて学びました。3 月は、地域連携と組織作りの課題や知見を共有しました。

また、職員を対象に 4 回の研修を実施し、幅広い知識の習得と支援力の向上につながりました。具体的には下記のとおりです。

5 月には、障害者虐待防止・権利擁護についての認識をあらためて共有しました。7 月には、当事者の声を丁寧に聴くことの大切さを学び、傾聴とはどういうことかを実践トレーニングを通して学びました。11 月と 2 月には、現場の事例を持ち寄り全員で支援のあり方を検討する研修会を実施しました。職員では対応が困難なケースにおいて、精神科医による医療的見地から事例を検討し、広く意見交換することで、職員各々が気づかなかった支援の効果的なアプローチを知る機会となりました。検討する事例の解決を目的とするだけでなく、支援する職員のアセスメント力や主体的に見立てを検討する力が磨かれ、個人の力量

の形成につながりました。

当団体の職員だけでなく、より多くの地域の支援者の方々に研修の機会を設けられたことは大変有意義なこととなりました。ありがとうございました。

て地域の支援機関と連携をしてきましたが、多様な困難を抱える当事者を地域全体で支える必要性を感じています。地域全体の支援力向上を目指すと同時に、地域のつながりを構築する機会を今後も設けていきたいと考えています。

■ 成果の広報・公表

公開研修の内容を当団体が発行する会報誌「SS JOURNAL」に掲載し、約 250 か所の関係機関に送付しました。また、当団体公式サイト、SNS（Facebook、Instagram、X）を通して、幅広く報告しました。

研修で使用した資料・映像をデータで管理して、既存の職員が学んだ内容について再確認できるようにするとともに、今後入職する職員も学べるようにしました。また、職員が各自研修内容を振り返り、現場での支援や関係機関との情報共有に活かしています。

■ 今後の展開

当団体は『誰もが自分らしく生きることのできる社会』を目指して活動しています。発達障害や精神障害のある人を対象とした福祉事業所の運営から、さらに既存の福祉制度の対象とはならない人への支援へと活動の幅を広げてきました。そのため、障害者の特性の理解だけでなく、背景にある多様な困難（生活困窮、ひきこもり、難病、LGBTQ 等）の理解と、職員の意識やスキル・知識・経験・支援力をますます高めていく必要があります。今後も団体として職員の支援の質を維持するために、貴財団からの助成のもと開催した研修資料などを活用させていただく所存です。

また、当団体が引き続き取り組んでいきたいこととしては、地域全体の支援力の向上と地域の連携体制の構築です。これまで障害者支援を軸とし